

2018年度 第1四半期報告の概要

2018年8月9日
明治安田生命保険相互会社

I. 2018年度第1四半期業績のポイント

グループベース・明治安田生命単体ともに増収増益 基礎利益は、グループ・単体ともに第1四半期過去最高益を更新

保険料等 収入

- グループ保険料は、明治安田生命単体の増収により、7,785億円と前年同期比8.7%の増加
- 明治安田生命単体は、2017年8月に発売した外貨建一時払保険の貢献等により、7,042億円と前年同期比9.8%の増加

基礎利益

- グループ基礎利益は、明治安田生命単体およびスタンコープ社の増益等により、1,296億円と前年同期比24.9%の増加となり、第1四半期過去最高益を更新
- 明治安田生命単体についても、外国公社債の残高積み増しによる利息及び配当金等収入の増加等により、1,222億円と前年同期比20.2%の増加となり、第1四半期過去最高益を更新

健全性

- 連結ソルベンシー・マージン比率は、1,004.5%と前年度末差14.3ポイントの増加
- 明治安田生命単体は、948.0%と前年度末差10.1ポイントの増加

2018 年度 業績 見通し

- 2018年度のグループ保険料・基礎利益の見通しは、2017年度決算報告時から変更なし
- 保険料等収入は、外貨建一時払保険に加え、第三分野商品の拡販等により、グループ・単体ともに2017年度から「増収」の見通し
- 基礎利益は、グループ・単体ともに過去最高益となった2017年度と同程度の「横ばい」の見通し

Ⅱ. 明治安田生命グループの業績

グループ保険料、グループ基礎利益、連結ソルベンシー・マージン比率

- グループ保険料は、明治安田生命単体の増収により、7,785億円と前年同期比8.7%の増加
- グループ基礎利益は、明治安田生命単体およびスタンコープ社の増益等により、1,296億円と前年同期比24.9%の増加となり、第1四半期過去最高益を更新
- 連結ソルベンシー・マージン比率は、1,004.5%と前年度末差14.3ポイントの増加

■ グループ保険料

(単位：億円)

	2018年度 第1四半期連結累計期間		2017年度 第1四半期 連結累計期間
		前年 同期比	
グループ保険料 ^(注1)	7,785	+8.7%	7,164
明治安田生命単体	7,042	+9.8%	6,411
海外保険事業等 ^(注2)	743	△1.3%	753
うちスタンコープ社	674	△1.3%	683

■ グループ基礎利益

(単位：億円)

	2018年度 第1四半期連結累計期間		2017年度 第1四半期 連結累計期間
		前年 同期比	
グループ基礎利益 ^(注3)	1,296	+24.9%	1,037
うち明治安田生命単体	1,222	+20.2%	1,017
うち海外保険事業等 ^(注2)	123	+71.4%	72
うちスタンコープ社	85	+154.0%	33

■ 連結ソルベンシー・マージン比率

(単位：%)

	2018年度 第1四半期連結期間末		2017年度末
		前年度末差	
連結ソルベンシー・マージン比率	1,004.5	+14.3ポイント	990.2
(参考) 明治安田生命単体	948.0	+10.1ポイント	937.9

- (注1) グループ保険料は連結損益計算書上の保険料等収入
- (注2) 海外保険事業等は、国内生命保険事業以外の合算。なお、海外の子会社等は決算日が明治安田生命単体と3ヵ月ずれるため、第1四半期グループ業績への反映期間は1月から3月までの3ヵ月
- (注3) グループ基礎利益は、明治安田生命の基礎利益に連結される子会社および子法人等ならびに持分法適用の関連法人等のキャピタル損益等を控除した税引前利益のうち明治安田生命の持分相当額を合算し、明治安田生命グループ内の内部取引の一部を相殺した数値。なお、スタンコープ社については、買収会計に伴う保有契約価値の償却費用等を控除する前のベースで合算

Ⅲ. 明治安田生命単体の業績

1. 保険料等収入、新契約年換算保険料、保有契約年換算保険料

○保険料等収入は、2017年8月に発売した外貨建一時払保険の貢献等により、7,042億と前年同期比9.8%の増加

○新契約年換算保険料は、外貨建一時払保険に加え、第三分野商品の拡販等により、前年同期比31.4%増加

■ 保険料等収入の状況

(単位：億円)

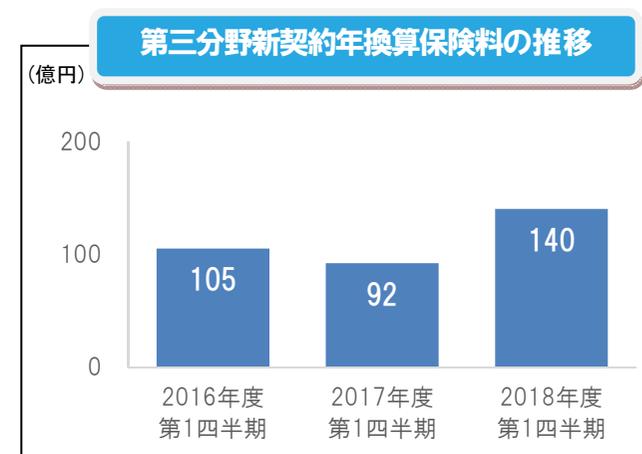
	2018年度第1四半期累計期間		2017年度第1四半期累計期間	
		前年同期比		
保険料等収入	7,042	+9.8%	6,411	
うち個人保険・個人年金保険	4,551	+26.3%	3,603	
うち営業職員チャンネル	3,531	+15.8%	3,049	
うち平準払商品	3,031	+1.4%	2,989	
うち銀行窓販チャンネル	915	+103.3%	450	
うち団体保険・団体年金保険	2,397	△11.6%	2,713	



■ 新契約年換算保険料の状況（個人保険・個人年金保険）

(単位：億円)

	2018年度第1四半期累計期間		2017年度第1四半期累計期間	
		前年同期比		
新契約年換算保険料	357	+31.4%	272	
うち営業職員チャンネル	307	+25.1%	245	
うち銀行窓販チャンネル	45	+105.3%	22	
うち第三分野	140	+52.2%	92	



■ 保有契約年換算保険料の状況（個人保険・個人年金保険）

(単位：億円)

	2018年度第1四半期会計期間末		2017年度末	
		前年度末比		
保有契約年換算保険料	22,570	+0.3%	22,511	

Ⅲ. 明治安田生命単体の業績

2. 契約クオリティ(解約・失効・減額率、総合継続率)

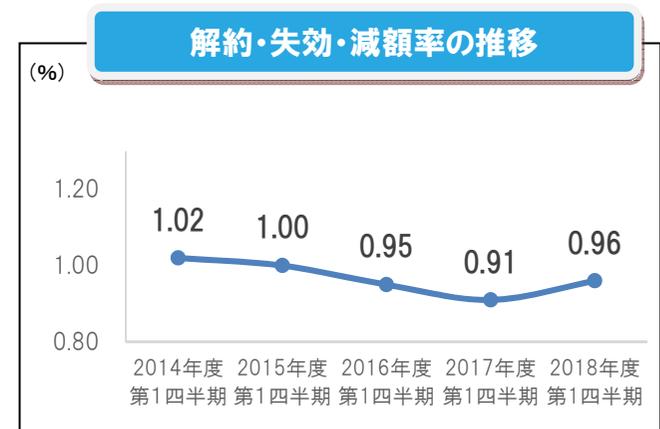
- 契約クオリティを示す指標は、引き続き良好な水準
- 解約・失効・減額率は、0.96% (前年同期差+0.05ポイント)
- 総合継続率は13月目・25月目ともに高水準を維持

■ 解約・失効・減額率^(注1)の状況(個人保険・個人年金保険)

(単位: %)

	2018年度 第1四半期累計期間		2017年度 第1四半期累計期間
		前年同期差	
解約・失効・減額率	0.96	+0.05ポイント	0.91

(注1) 年度始保有契約年換算保険料に対する解約・失効・減額年換算保険料の割合

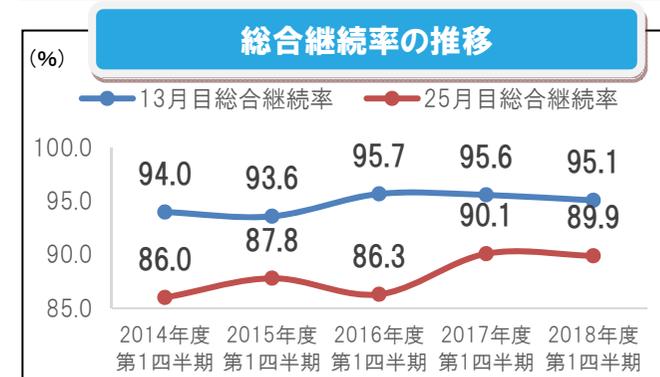


■ 総合継続率^(注2)の状況(個人保険・個人年金保険)

(単位: %)

	2018年度 第1四半期累計期間		2017年度 第1四半期累計期間
		前年同期差	
13月目総合継続率	95.1	△0.5ポイント	95.6
25月目総合継続率	89.9	△0.2ポイント	90.1

(注2) 総合継続率は、契約高ベースにて算出



Ⅲ. 明治安田生命単体の業績

3. 基礎利益

○基礎利益は、外国公社債の残高積み増しによる利息及び配当金等収入の増加等により、1,222億円と前年同期比20.2%の増加となり、第1四半期過去最高益を更新

■ 基礎利益等の状況

(単位：億円)

	2018年度 第1四半期累計期間		2017年度 第1四半期累計期間
		前年同期比	
基礎利益 ^(注)	1,222	+20.2%	1,017
うち利息及び配当金等収入	1,891	+12.2%	1,685

(注) 2017年度上半期報告より、基礎利益からマーケット・ヴァリュ・アジャストメントに係る解約返戻金額変動の影響額および外貨建一時払保険契約に係る市場為替レート変動の影響額を除く。なお、この変更を2017年度第1四半期累計期間に適用すると、2017年度第1四半期累計期間の基礎利益は0.01億円増加、キャピタル損益は0.01億円減少



Ⅲ. 明治安田生命単体の業績

4. ソルベンシー・マージン比率、実質純資産額、オンバランス自己資本

○ソルベンシー・マージン比率は、948.0%と前年度末差10.1ポイントの増加

■ ソルベンシー・マージン比率

(単位：億円、%)

	2018年度 第1四半期会計期間末		2017年度末
		前年度末差	
ソルベンシー・マージン比率 ^(注1)	948.0	+10.1ポイント	937.9
ソルベンシー・マージン総額(A)	79,136	+2,995	76,141
リスクの合計額(B)	16,693	+457	16,236

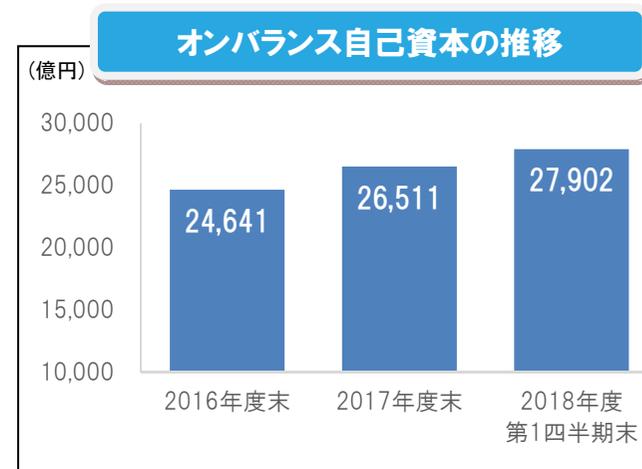
(注1) ソルベンシー・マージン比率=(A)/(1/2×(B))×100



■ 実質純資産額

(単位：億円、%)

	2018年度 第1四半期会計期間末		2017年度末
		前年度末差	
実質純資産額	99,261	+985	98,275
一般勘定資産に対する比率	25.6%	△0.5ポイント	26.1%



■ オンバランス自己資本

(単位：億円)

	2018年度 第1四半期会計期間末		2017年度末
		前年度末差	
オンバランス自己資本 ^(注2)	27,902	+1,390	26,511

(注2) 所定の内部留保と外部調達資本の合計額

Ⅲ. 明治安田生命単体の業績

5. 含み損益、国内株式含み損益ゼロ水準

○一般勘定資産全体の含み損益は、国内の株価上昇や、前年度末と比較し為替が円安となった影響から、6兆3,848億円
 (前年度末差+2,021億円増加)

○国内株式含み損益ゼロ水準は、8,500円程度

■ 一般勘定資産全体の含み損益

(単位：億円)

	2018年度 第1四半期会計期間末		2017年度末
		前年度末差	
一般勘定資産全体の含み損益	63,848	+2,021	61,826
うち時価のある有価証券 ^(注)	59,726	+1,839	57,886
うち公社債	26,326	△95	26,421
うち株式	27,861	+1,183	26,678
うち外国証券	4,869	+762	4,106

(注) 有価証券には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含む

■ 国内株式含み損益ゼロ水準

仮に当社ポートフォリオが日経平均株価およびTOPIXにフル連動するとした場合

	2018年度 第1四半期会計期間末	2017年度末
日経平均株価ベース	8,500円程度	8,200円程度
TOPIXベース	660ポイント程度	660ポイント程度



IV. スタンコープ社の業績【参考】

スタンコープ社の保険料等収入、基礎利益相当額、当期純利益

○保険料等収入は、主力の団体保険事業が順調に推移したものの、前年同期末と比較し為替が円高となった影響で前年同期並みの水準
 ○収益面では、団体保険事業の給付率が前年同期と比較して大きく改善したことを主因として、基礎利益相当額・当期純利益とも大幅な増益

■保険料等収入、基礎利益相当額、当期純利益の状況^(注1)

(単位：億円)

	2018年度		2017年度 第1四半期累計期間
	第1四半期累計期間	前年同期比	
保険料等収入	674	△1.3%	683
基礎利益相当額 ^(注2)	85	+154.0%	33
当期純利益 ^(注3)	45	+976.9%	4

(注1)スタンコープ社は決算日が明治安田生命単体と3ヵ月ずれるため、第1四半期グループ業績への反映期間は2018年1月から3月までの3ヵ月分

(注2)基礎利益相当額は、買収会計に伴う保有契約価値の償却費用等を控除する前の税引前利益からキャピタル損益等の一時費用を控除したもの

(注3)買収会計適用後

※2017年度第1四半期は2017年3月末の為替レート(1米ドル=112.19円)、2018年度第1四半期は2018年3月末の為替レート(1米ドル=106.24円)で円換算

V. 業績見通し

2018年度業績見通し

- 2018年度のグループ保険料・基礎利益の見通しは、2017年度決算報告時から変更なし
- 保険料等収入は、外貨建一時払保険に加え、第三分野商品の拡販等により、グループ・単体ともに2017年度から「増収」の見通し
- 基礎利益は、グループ・単体ともに過去最高益となった2017年度と同程度の「横ばい」の見通し

■ グループ保険料の見通し

	2018年度見通し	前年度比	2017年度実績
グループ保険料 ^{(注1)(注3)}	32,000億円程度	増加	30,243億円
うち明治安田生命単体	29,000億円程度	増加	27,194億円
うちスタンコープ社	2,800億円程度	横ばい	2,811億円

■ グループ基礎利益の見通し

	2018年度見通し	前年度比	2017年度実績
グループ基礎利益 ^{(注2)(注3)}	5,850億円程度	横ばい	5,851億円
うち明治安田生命単体	5,450億円程度	横ばい	5,467億円
うちスタンコープ社	350億円程度	横ばい	359億円

(注1) グループ保険料は連結損益計算書上の保険料等収入

(注2) グループ基礎利益は、明治安田生命の基礎利益に連結される子会社および子法人等ならびに持分法適用の関連法人等のキャピタル損益等を控除した税引前利益のうち明治安田生命の持分相当額を合算し、明治安田生命グループ内の内部取引の一部を相殺した数値。なお、スタンコープ社については、買収会計に伴う保有契約価値の償却費用等を控除する前のベースで合算

(注3) 業績見通しにおける想定為替レート：対米ドル110円

■ 企業価値（EEV）の見通し

	2018年度末見通し	2017年度末
企業価値（EEV）	年平均6%程度増加	49,405億円